

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 りんごの樹

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	0	防音室を使用するなどの工夫をしている配置、利用者同士の相性等防音室(個室)があることで環境設定がしやすい。定員が守られている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	0	体格のいい中高生にも対応できるよう男性スタッフが多い。利用者さんとの相性も考慮している。また、必要数以上の配置をしている。定員に対して適正な職員配置がされている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	1	廊下やトイレなど、手すりもあり広さも十分である。しかし、車椅子の利用者さんにとっては設備や安全面に関しては改善が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	0	オゾン装置で空気を綺麗にしている十分な広さもあり、自然光もたくさん入り明るい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	0	防音室を使用している防音室で部屋が区切れるようにしている。防音室がある1人になりたい時、落ち着かない時など、個室の準備が整っている。デイルームが仕切れれば2部屋利用できるよう状態になっている。また、建物の特性として倉庫があったり、デイルームの押入れが活用されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	0	毎日打ち合わせをしていて?当日の活動の流れと前日の振り返りを行っている。打ち合わせを必ず行い、配慮事項等の共有を行なっている点毎日の打ち合わせ、定期的な会議など必要に応じて話し合いの場を設定している。	毎日の打ち合わせが職員間で連携を取るうえで大事な事なので意識して今後も続けていきたいと思います
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	1	保護者アンケートにより、改善すべき事をスタッフで共有し、現場に生かしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	評価制度を入れているケース会議を行い、利用者に対する意見共有等を行なっている毎日の打ち合わせ、定期的な会議、その他にも必要な場面があれば、その都度話し合いをしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	1	今後、第三者委員会による評価をしていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	0	月1.2回程度の研修や通所連絡会の研修で学びの機会が設けられている。毎月の研修、法定研修をしっかりと行うことができている。外部からの講師を招いての研修も取り入れたい。指定された研修時間を職員がしっかりとこなしている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 りんごの樹

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでも ない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	0	自事業所の特徴を生かし、また、利用者さんの特性に合わせてプログラムを考えている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	0	懇談を行なっている保護者の方との面談などを通して、よりよい支援となるように情報共有しながら作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	0	サポート会議を開いている支援計画についての会議を行い、関わる職員により支援の内容などを検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0	計画に関わる職員で確認し、日々の支援に繋げている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	0	基本のアセスメントシートは使用しているが、利用者さんの特性、困り感に合わせたシートも使っていきたい。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	0	それぞれの支援分野について目標設定や支援の内容を具体的に設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	0	内容も含めて話し合っている職員の得意分野を生かしたり、利用者さんの特性に合わせたプログラムを会議できめている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0	利用者にリクエストしてもらったり工夫している他の事業所さんの情報を聞いたり、専門書などから取り入れるなど、マンネリにならないように工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0	利用者さんの特性に合わせた目標設定をしており、個別、集団ともに活動として取り入れている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	0	1日の流れや注意点、座席の位置など細かいことも含めミーティングをしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	0	反省や振り返りを行なっている気になったこと、危険だったことは即座に話し合っている。それ以外は勤務時間内におさまらなければ翌日に必ず話し合っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 りんごの樹

チェック項目		はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	業務日誌の記入を行なっている支援を行ったら即座に記録を取っている。その記録をもとに支援計画に生かしたり、日々の支援な活用している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0	モニタリング会議を毎月行っており、計画の見直しや変更をしている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	1	地域交流の活動にもう少し力をいれていかないといけない。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	0	自立課題をとりいれ、選択の場面を設定したり、日常の関わりのなかでも職員が決めてしまうのではなく、利用者さんにまず選択してもらうようにしている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	管理者、自発管が必ず参加している。児童発達支援管理責任者がいつも先頭に立ちしっかり対応していると思う。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	0	問題が起きたら関係各所に報告をしたり、相談している。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	0	保護者の方を通じて情報共有したり、直接、学校とやりとりをしている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	1	保育園との情報共有は少ない。相談支援専門員さんや、保護者の方に必要な情報を聞いている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	1	相談支援を設けている点。事前に担当者会議があれば参加している。	
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	3	研修は参加しているが、助言をうけるまではできていない。		
32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	2	戸外活動で触れ合う機会がある。交流できるイベントなどを立ち上げたり、地域の活動情報を積極的に収集していきたい。		
33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	3	参加回数は少ない。法人から代表して参加はしている。会議に参加している雰囲気を感じる。社内の上の者が中心になって、通所支援連絡会に参画していると思う。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 りんごの樹

チェック項目		はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	定期的な面談、送迎時、必要性が生じた際には情報共有を行なっている。		
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	4	研修会のチラシなど、情報提供は行なっている。事業所でもペアレントトレーニングの機会を設けていきたい。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	0	契約時、変更時など、必ず文書にて説明を行なっている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0	定期的な面談やその都度、ご家族やお子様の思いをきいて現場に生かしている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	0	内容を説明した上でサインをいただいている。		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	相談を受けた際には懇談の場を設けたり、電話相談も受けている。		
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	3	参加人数がすくないが、年に1回程度やっている。今後はもう少し活発的にできるように工夫していきたい。		
保護者への説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	担当職員が対応しており、法人全体(管理者)でも共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	ホームページ、SNSを活用して情報共有している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0	施錠できるロッカーを使用している。パソコンは鍵のかかる事務所で管理している。利用者ごとのファイルを作成、特定の場所に保管している個人情報の書かれた物は捨てる前にシュレッダーにかけるといった工夫している。送迎中などの利用者のそばで個人情報載っている書類を扱う際は、利用者の手が届かない、もしくは触ろうとせずぐわかる場所に置いている。個人情報使用同意書にサインを頂いている。また、職員にも雇用契約時にみだりに漏らさないようにサインをもらっている。重要書類は鍵付きのロッカーに保管されている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 りんごの樹

チェック項目		はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0	事業所のイベントに招待している。また、事業所の空き部屋を使って、地域のイベントを行なっている。言葉のチョイスや伝える際の雰囲気などを考慮している。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	3		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	0	訓練の内容を工夫したり、ためになる訓練となるように情報を収集している。	
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	避難訓練を行ったいろいろなバージョンの訓練ができるように工夫している。	日頃から訓練を行うことでいざというときにできるため今後も緊張感をもって取り組んでいく
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	0	契約時にアセスメントを行なっている発作が起きた場合の対応マニュアルを入社時に確認している。そういった情報を一覧にまとめている。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	1	契約時にアセスメントを行なっている医師の指示書をいただいたり、保護者からの情報を職員で共有している。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	0	特になし。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	1	特になし。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	定期的に会議の議題としてあげており、改善できるように話し合ったり、共有している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	法定研修を行い、事例検討なども行なっている。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	0	支援計画書に記載して同意をいただいている。		